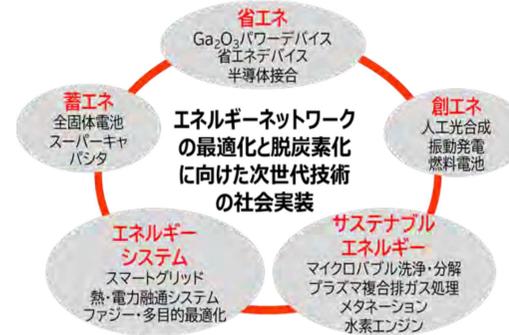


大阪公立大学

参画機関：東北大学

施設の概要

スマートエネルギー領域において、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化やスマートビルの社会実装に向けた学内研究シーズの実証実験及びオープンイノベーションの場として、企業との共創研究やスタートアップ創出を推進するための産学官民リビングラボ施設を整備。



インキュベーション

オープンイノベーション

セル(スマートビル)



本施設: イノベーションアカデミー共創研究拠点

- ・社会実証のプロトタイプ実験
- ・多様なEMS実験の共創の場
- ・ビルOS 空調/照明/ロボット
- ・エネルギー材料の実証研究

ユニット
スマートビル連結

- ・CN電力システム開発
- ・自動ロボット運用実験
- ・熱/電力融通ネットワーク

研究力の向上戦略との関係性/整備する施設の必要性

本施設に設置されたエネルギーマネジメントシステムを用いた新たな熱・電力融通ネットワークシステムが開発されるとともにスマートビルを題材として実現する、アーキテクチャ、標準化、APIなどが構築され、研究力の大幅な向上が期待される。また、多くの参入が可能な産業基盤が構築され、産学官共創研究が加速する。社会実証実験の成果が見える化し、行政との連携によって都市のDX・GX化を目指した研究の社会実装や新事業の創成など大きな展開が期待できる。



整備する施設の効果について

行政とも連携したオープンイノベーションエコシステム拠点として、多彩なステークホルダーが集まる場を提供する。さらに、DX・GX共創研究を通して、人の活動と調和した環境の実現、ナッジおよび行動変容を通じた成熟社会の実現、人とロボットが調和された社会の実現に向けた研究開発が促進される。これらの活動の成果として、自治体と連携した拠点事業の獲得件数を10年後には3倍以上にするとともに、本学発スタートアップ数を10年後には約2倍以上創出する。

- 施設名 : イノベーションアカデミー共創研究拠点(スマートエネルギー棟)
- 構造 : 鉄鋼造3階建
- 規模 : 延床面積約3,000㎡
- 予定地 : 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
- 主な機能 : 産学官共創リビングラボ&オープンイノベーション拠点
- ・イノベーションエコシステム拠点として、アントレプレナーシップ教育カリキュラムの演習やハッカソン/テックソン(技術ベースの価値創造)イベント、行政と連携したアイデアソン、スタートアップ支援のピッチイベントなどに無料開放
 - ・産学官民リビングラボとしてエネルギー材料研究、エネルギーマネジメントやスマートビル、自走ロボット研究などの共創の場(インキュベーション)を提供